

エントリー学校名：

愛知県 名古屋市立津賀田中学校

活動名：

つながる広がる学校財務へ
～課題をみんなの共有財産に変える～

解決すべき課題：

学校予算を通して、より充実した授業や学習環境整備ができるという意識を高める。
「年度末反省会」を予算執行の振り返りとして位置づけることができるようにする。

目標・方針：

- ・ 日常的に、学校予算と教育活動を結びつけて考えることができるようにする。
- ・ 「年度末反省」の予算に関する評価は、校務分掌の各部に見られるため、内容を検証する。評価や反省にとどまらず、予算の使い方につなげていくことでさらによりよい教育活動に発展することを実感する。
- ・ 学校の課題解決や学校教育目標、努力点の推進に対して予算を有効活用できるようにする。

活動内容：

- ・ 「年度末反省」の評価項目の点検と考察（資料1）
- ・ 「年度末反省」及び「予算執行計画」から、「見えてこない」課題の調査方法の検討
- ・ 3月末の予算執行計画の提出に合わせた「質問調査」の実施と回収時の聞き取り調査(資料2)
- ・ 「質問調査」回答と予算執行計画から、教科を問わず使える教材を準備し、教室に持ち出ししやすい教材の置き場所や数量の検討、備品の使い方を話し合える空間づくりを行った。

活動の成果：

- ・ 「年度末反省」は、校務分掌の各部ごとに評価や課題を出し合っていく機会として捉え、項目、内容ともに変更せず、記述された課題について、各担当主任、教頭、事務職員で可能な限り即時改善を図っていくことにした。(資料1)(写真1)
- ・ 施設環境、特に、冷房、トイレ、照明といった現在の一般の日常生活には当たり前の環境改善を優先する声が多いことがわかった。(資料2)
- ・ 「こんな授業がしたい」「生徒どうし学び合わせたい」「負担を減らしたい」という意見に対し、学校予算でできることできないことを提案し、話し合いながら教材を選んだり、校内でできることを工夫したりした。
- ・ 異なる教科で共有できる教材、備品を教職員間で話し合うことで、指導に活用できる新たなアイデアを生みだしたり、負担軽減につながられたりする機会を増やすことができた。(写真2)(写真3)(写真4)

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ・ これまでの取り組みを生かし、課題を共有して、できることから着手した。
- ・ 日常の教育活動から見えてくる課題は何かと調べて調査し、ニーズを把握した。
- ・ 職員室内の教材や備品は、学校全体で共有しやすいように配置を工夫した。
- ・ 自分の課題は他者の課題であることも多く、解決することでみんなの共有財産が変わるということに気づき、とりあえずでも、困っていることや、やってみたいことを相談してみようという意識が高まってきた。

資料1 「年度末反省」予算項目抜粋

「年度末反省」から予算関係項目のみ抜粋

校務分掌	部門	項目	各担当	評価の観点	評価	
					H30年度	R1年度
学習・進路指導部	教材・教員	6	学年主任	各教科の教材・教員の整備・開発・活用を意識的に進めてきたか。	3.4	3.3
		1		教育活動を行うための教材・教員の整備・活用は適切であったか。	3.4	3.5
		2		予算の編成・執行は的確に進められたか。	3.5	3.7
教材部		3	進路指導主任	進路指導に必要な教材・資料は整備されていますか。	3.3	3.5
		1		校内の施設・設備を各教育活動の場で活用することができたか。	3.3	3.4
		2	校長	購入した備品や消耗品は、無駄にすることなく活用することができたか。	3.7	3.7
事務部		3		施設・備品等が破損した時すぐに報告し、修理することができたか。	3.5	3.8
		1	事務職員	配分された予算を、適正かつ有効に執行することができたか。	3.7	3.9

特活指導部
記述：○・・・(検討事項)
→・・・(改善案)
○ 週刊のマスターキーが、どこの鍵かわかりやすくなるという。
→使うことのないであろう鍵をなくし、すっきりさせました。しばらく新しい形で使っていたが、問題があればまた、教えていただければと思います。

写真1

鍵板と鍵、扉に同じ色のシールを貼り、「色」でわかるようにした。



資料2 「質問調査」

質問調査 「教科部会や学年会で話し合ったこと、個人の意見、希望をお聞かせください。」

対象：全職員(非常勤職員、管理職含む) 回答期間2月25日～3月24日 回答数：15(複数記入あり)

質問	回答数	回答後に分類
1. 教材や備品は、設備は十分ですか？以下の観点を参考に記入してください。 ・教材の使いやすさや必要量 ・特別教室(理科・美術室など)や体育館の使いやすさ ・買い換えたいもの ・今後必要なもの、あったらいいと思うもの		
(1) 担当教科や部活動などについて	8	教科の教材：4(教科の将来的な資機) 教科に関わらない備品：2 特別教室冷房：2
(2) 学年や学級活動、総合や道徳について	3	教員：1(黒板のマグネット) 生徒のコード掛け(教室環境) ホワイトボード(職員室の連絡用)
(3) 図書や情報教育について	1	教員用タブレットの台数増
(4) 生活、進路、生徒会、美化、ランチなどについて	4	生徒指導：1(生徒に貸し出すスリッパ、シューズ) 清掃：3(ワックスがけ、壁の汚れ、清掃道具)
(5) 体育大会・音楽会・三退会・入学式・卒業式など行事について	3	体育館のスポットライトの光が弱い：3
(6) 保健室、職員室、廊下などについて	3	教室の照明が暗い：1 廊下の照明が暗い：2
2. 生徒が準備したり、購入したりしているもので学校で公費により用意できたらよいと思うものはありますか？(生徒が家から持ってくるのは不便と感じているものでもよい)	1	定期テストを顧るもの(とじむ)
3. 学校施設・設備で、改善できるとよいと思うものはありますか？ ・安全・安心・危機管理 ・快適さ(不便に感じているもの) ・時間管理(負担軽減)	9	冷房：4 教室の照明：1 教室の床：1(隙間にごみが溜まり取れない) 浮式トイレの個数増：1 運動場の改修：1(砂場の砂) 校舎の壁：1
4. 地域、近隣で活用できるとよいと思うものはありますか？ ・公民館、職場体験など	0	
5. 学校振興予算で、もっと知りたいこと、わかりにくいことはありますか？ ※学校振興予算とは、学校長の判断で使えるお金のこと	1	公費で買えるもの、買えないものかわからない：1

写真2

耕運機を購入し、特別支援学級や園芸部は学校菜園で使い、体育では、砂場の砂を短時間で柔らかくするために使用して、幅跳びが思い切りできるようになった。



写真3

グループ活動で使用するペン類、ホワイトボード、ふせん各セット、タイマー、画用紙類等を職員室内の出入口近くに置き、学校全体での共有使、学級への持ち出しやすさを実現した。



写真4

イメージキャナーは、職員室中央の空き机に置き、どんな使い方ができるか、困ったときのアドバイスや工夫したアイデアなど話し合えるようにした。

